

整理番号		受付日時	月	日	時	分	受付者	
------	--	------	---	---	---	---	-----	--

2026年5月28日

(宛先)
小金井市議会議長

小金井市議会議員

坂井えつ子

発言通告書（一般質問）

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

記

表題及び質問の具体的内容	備考
1 気候危機対策はまったなし！	
(1) 公共施設等からの温室効果ガス排出量について 小金井市環境報告書(2025年12月)によると、2024年度公共施設等からの温室効果ガス排出量は、基準年度(2019年度)比で1.3%の減少、本庁舎等の再生可能エネルギー100%電力の導入分を考慮した場合は1.9%の減少となった。要因分析と今後の対策を伺う。	
(2) 再生可能エネルギーの普及について 市有施設における再生可能エネルギー電力の導入状況及び従来契約と比較した場合の歳出増減は。	
(3) 気候非常事態宣言を含む各種取り組みの認知度が低い件について 小金井市は2022年1月1日に気候非常事態宣言を行なった。2026年3月環境・みどりに関する市民アンケート調査結果報告書によると、気候非常事態宣言や他の取組について「知らない」と回答したのは7割前後と認知度が低い結果となっている。宣言5周年となる2027年1月1日に、今一度あらためての周知を。	
2 目的別基金の創設について市長の考えを問う	
人口減少社会が進むなか、住民福祉の増進のため、最少の経費で最大の効果を挙げることが求められている職員は、行財政改革の視点でスクラップ・アンド・ビルド及び財源確保や経費削減に努めている。職員の尽力が、所管する施策の充実につながる仕組みは構築されているのか。	
3 多様な性のあり方を尊重しよう	
性の多様性に関する施策の取組状況は、2025年第4回定例会で、ファミリーシップ制度の検討を求めたところ、「前向きに検討したい」としていた。2026年度施政方針には「導入について検討に着手する」と記載があった。取り組みに期待をしている立場から状況を確認する。	以上